

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成29年度 第8号
		平成29年11月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数 11月1日現在 598名



よく遊び、よく学べ

校長 可知 良之

先月20日に開催した「特別の教科道徳研究発表会」では、志木市内外から多くの教育関係者の皆様にご参会いただき、盛況のうちに終えることができました。また、発表直後の学校公開日には、全ての学級で研究成果を踏まえた道徳の授業公開を行いました。授業をご覧になった皆様も、ご自身が受けた道徳授業との違いに驚かれたかもしれません。来年度からは、このような道徳も一つの形として多くの学校で取り組まれていくことかと思えます。

さて、道徳を要とした**心の教育**とともに大事な教育は何ですかと尋ねられたら、私は迷うことなく**体の健康に関わる教育**と答えます。「心と体は一体のもの」「健全な心は健全な体にこそ宿る」というのが私の持論です。実のところ、本校児童の大きな課題の一つが体力の向上ですので、学校としてもしっかりと取り組みたいところです。では、今の子供たちの体力は低下しているのでしょうか。毎年行っている体力テストの結果は昭和の時代と比べるとかなり下がっていますが、それでもここ数年は徐々に上がってきています。しかし、体格ははるかに良くなっているのですから（脚の長さは相当伸びています）もっと伸びていてもおかしくないはずですが、ボールの足さばきや手さばきはとても上手なのに、バランスを失ったときになぜか手足が出なかつたり、体が硬くて開脚が全くできなかつたりと、体格は良くなっていますが、その体を支えていく力のバランスが良くない気がします。また、子供たちの日頃の様子を見ると、首から上のけががとても多

いことも気になります。

一昔前の小学生男子といえば泥だらけになってよく遊んでいたものです。「お腹がすいたあ」と家に帰るとあまりの汚さに風呂場に直行といったこともありました。女子であっても男子と一緒に走り回って遊んでいる姿もよく目にしたものです。子どもは今その場にあるものを何でも遊び道具に変えてしまう天才です。屏をよじ登ってその上を歩いてどこまで行けるか競争をする、このような遊びも子供は大好きですがバランス感覚を自然に身に付けるには最高のトレーニングです。（残念ながら今、こんなことをすればすぐに通報されてしまいます。）広告の紙が1枚あれば「パーン」と音が出る紙鉄砲が作れます。大きな音で鳴らすには少々コツが必要で、要は力一杯振り切ることが大切なのですが、夢中で何度も何度も振り切る動作をすることがボールを投げる力（投力）を高める運動になっているのです。先日、体育の授業で子供たちがキャッチボールをしている様子を見ていた先生が、「最近ではキャッチボールをして遊ぶ子供の姿を見なくなったな、場所と経験が足りないんだよ。」と嘆いていました。キャッチボールだけでなく色々な運動経験が圧倒的に少なくなっているのかもしれない。

小学生にとっての遊びは貴重な学びの時間だと思います。「よく遊び、よく学べ。」よい遊びはよい学びにつながります。今年は、読書の秋や食欲の秋に遊びの秋も加えてほしいものです。